

これまでの成果と今後の課題

1. これまでの成果

	検討会	WG 会合	その他の活動
6月前	<p>準備会合（4月24日）</p> <ul style="list-style-type: none"> （方向性の提示） 		
7月	<p>第1回（7月2日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査の狙いの確認 パッケージ・戦略へのインプット 重点分野設定の指摘 	<p>第1回（7月30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国別重点分野の設定 現地調査計画へのインプット 	<p>環境機器の輸出阻害要因等に関するアンケート調査</p> <p>現地調査</p> <p>法令収集・翻訳</p>
8月			
9月			
10月		<p>第2回（10月9日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査から得られた課題整理 輸出阻害要因まとめ パッケージ・戦略の方向性検討 和訳対象法令の確認 	
11月			
12月	<p>第2回（12月7日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象国の現状整理と課題把握 パッケージ及び戦略の方向性の検討 和訳対象法令の確認 		
1月		<p>第3回（1月6日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及すべき環境技術の絞り込み 戦略案・パッケージ案の検討 	<p>企業ヒアリング</p>
2月		<p>第4回（2月12日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略案・パッケージ案の検討 今後の課題の整理 	
3月	<p>第3回（3月3日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略・パッケージ案の検討 今年度成果のまとめ 今後の課題の整理 		

2. 今後の課題

2. 1 日本の環境技術の国際展開に係る戦略

本事業の中でとりまとめた戦略を今後実施するにあたって、以下のような課題がある。戦略に基づく取組がパッケージの中に組み込まれているものと、そうでないものがあり、前者については、パッケージに関する対象国（政府及び企業等の関係者）との交渉の中で実施可能性を探るものとする。後者については、実施についての検討が必要であり、以下の課題がある。

- 実施可能性も考慮した戦略中の取組の優先順位付け
- 取組内容・実施体制の詳細な検討
- 国内関係機関との合意形成
- 取組の実施費用の見積、予算の確保

2. 2 対象国における技術・制度・人材のパッケージ

本事業の中でとりまとめたパッケージ中の取組を今後各対象国において実施するにあたって、以下のような課題がある。

- 実施可能性も考慮したパッケージ中の取組の優先順位付け
- 取組内容の具体化の検討（対象国政府に提案する内容等の検討）
- 取組の実施体制の詳細な検討・国内関係機関との合意形成
- 取組の実施費用の見積、予算の確保
- 対象国政府・関係機関とのパッケージに関する意見交換（背景・主旨、協力の可能性）
- 対象国政府・関係機関の意見を踏まえたパッケージ案の修正
- パッケージに組み込まれている取組の実施（各国別協力事業への反映も含む）

2. 3 環境の現状・法令に関する情報提供

本事業の中で収集整理した対象国における環境の現状（汚染状況、排出源、対策、国際協力事例）、法令（全文和訳、概要和訳、英文または原文）に関する情報を、環境省ウェブサイトに掲載し、継続的に更新していくためには、以下のような課題がある。

- 利用者にとって使いやすいウェブサイトの設計
- 環境省ウェブサイトへの情報のアップロード
- 新たな法令、改訂された計画等追加・更新すべき情報の収集整理
- アップロードされた情報の継続的更新体制（組織、費用）の検討
- 利用者からの声をウェブサイトにも反映するシステムの検討